

令和元年5月28日

記録：関根 浩

令和元年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

- 1 日時 令和元年5月21日（火）13時30分
- 2 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
- 3 出席者 小林健一（つつじの園施設長）
森保博子（飯能市基幹型包括支援センター管理者）
平澤淳校長 星野成美介護福祉学科長
高松浩之介護福祉学科教務主任 関根浩学務部長

4 校長挨拶

この4月から介護福祉学科は、職業実践専門課程認定校となった。また、今年度は、「介護ロボット」の導入や、学生が近隣の介護施設へ出向く「出張レクリエーション」等、新しい物を導入しての授業や、更に地域貢献に力を入れていきたい。また、ベトナム・中国・インドネシアの3カ国11名の留学生在が入学し、新入生は、30名となった。来年度は、定員の40名に向けて募集を頑張っていきたい。

- 5 委員委嘱状交付
- 6 自己紹介
- 7 学校自己評価（教育活動分野）

① 学生募集

介護福祉学科40名を各学内組織と連携し、教職員の力を集結して取り組み、定員充足を目指す。4月に入学した留学生11名に関しては、現在のところ、特に問題無い。

② 学生指導

学生が、安心・安全・健全に学校生活を送れるように、教職員間でのコミュニケーションを重視する。国家試験合格100%に向けて、対策講座・模擬試験及び補習を実施する。留学生の指導については、教頭だった笹岡勉が教育支援推進室長となった。学生一人ひとりが、人間としての魅力をつけられるよう指導していく。

③ 職業実践専門課程

今年度から、介護福祉学科が職業実践専門課程に認可され、引き続き適正運営に努める。また、2年後の柔道整復学科の職業実践専門課程申請に向け準備を進めている。その他、高等教育授業料無償化制度の対象校になることも重要であり、当校も申請の準備を開始している。

④ 地域貢献

地域行事・各種大会へのボランティア参加（例えば、飯能新緑ツーデーマーチ等）、校舎・校庭・柔道場の外部への開放等、地域の方々とふれあい、開かれた学校として地域に貢献する。

⑤ 付帯事業

鍼灸学科募集停止になり、芳愛鍼灸治療センターを閉院したことにより、芳愛接骨院の更なる拡充に向け、施設設備の充実を図る。その他、昨年同様に介護福祉士実習指導者講習会を実施する。

8 教育課程編成に係る現状と課題

- ・令和 3 年度からのカリキュラム変更により、「コミュニケーション技術」と「介護実習」の科目時間数が増える。地域との連携や多職種連携が目的の為である。
- ・介護福祉学科は、1 年生 30 名・2 年生 9 名、合計 39 名が在籍し、好奇心のある学生が多い。入学してきた 1 年生の内訳として、新卒 14 名・委託訓練生 5 名（50 歳代もいる）。男女別では、男性 13 名・女性 6 名である。その他、留学生が、中国 2 名・ベトナム 8 名・インドネシア 1 名、合計 11 名。男女別では、男性 3 名・女性 8 名である。留学生の年齢は、全員が 20 歳代前半であり、それぞれの母国で国家試験等の受験経験があったり、看護師の勉強をしていたようである。現在、日本語検定 2 級を取るための勉強もしているが、日本語は、まだ、たどたどしい。2 年生については、レクリエーションの授業の一環として、新入生交流会の企画を計画し、先日、無事に終了した。また、国家試験に向けて勉強中であるが、近々、実習Ⅱがスタートする為、今は、実習に向けての練習をしている状況である。
- ・4 月から、介護福祉学科に救急救命士を持った教員が、非常勤として新規に加わった。
- ・今年 1 月に行われた介護福祉士国家試験の結果は、16 名が受験し、12 名が合格（合格率 75%）、4 名が不合格となった。今年度は、全員合格を目指す。
- ・教育&授業の強化については、
 - ① 「介護ロボット」の導入
昨年度、体験した「介護ロボット」を導入し、新しい授業を展開していく。
→ 面白い。飯能市内でも関心ある方が多いと思われるので、外部向け体験企画等を検討していただきたい。
 - ② アロマ・メイクセラピーの導入
今年度も 2 年生で美容の勉強を取り入れていく。
→ メイクセラピーは良い。介護をしながら応用して、色々つきとめることができる。
 - ③ 2 年生のレクリエーション授業の充実
レクリエーションの実践ということで、介護施設へ出張レクリエーションを今年度も実施する。その他、昨年度、実習Ⅱでお世話になった利用者様へ、ありがとうのメッセージカードを作成し、それぞれの介護施設へ郵送した（入学してくる新 1 年生達にも、先輩からのメッセージカードを作成した。）。

今年度も実施する予定である。

④ 地域との交流

飯能新緑ツーデーマーチ「のんびりウォーク」にボランティアとして参加し、学園祭等のイベント時には、留学生は、ベトナム料理を提供するなど、授業の一環として地域へ交流していきたい。

→ 昨年度、市内精明地区で行われた「ひとり歩きやさしい声かけ訓練」に参加し、大川学園の学生達の様子等が地域の方々に理解できたのではないかとと思われる。今年度も、本郷・中居・原市場・美杉台地区が「ひとり歩きやさしい声かけ訓練」を実施する。中居地区は、大川学園から近隣の地区なので、協力していただけるとありがたい。

⑤ 防災・災害についての意識を高める

埼玉西部防災センターに出向き、防災の知識を身につける。また、昨年度も実施した「避難所運営ゲームHUG」を使った授業を実施する。

→ 令和元年11月17日(日)に飯能市で実施する災害ボランティア行事では、「避難所運営ゲームHUG」を使った会議を行う予定である。

以上が、教育&授業の強化点である。

・今年度、新たに検討していることは、

① 留学生との交流

地域イベントに参加し、留学生の活躍の場を広げていく。

→ 留学生が馴染みやすくなり、日本人も留学生を受け入れやすくなる環境になると思われる。

② 卒業生を招いての就職の話

→ 実際に現場で働いてみて思ったこと等、事前に聞いた方が、良い就職先の選択肢になるとと思われる。

③ 聴導犬の実演

聴覚障がい者の方に対する対応等を実演する授業を、実際に聴導犬が来校し、9月に授業を実施する予定である。

・6月23日(日)の芳愛会実技研修会で映画「ケアニン」を上演する。同窓会企画ではあるが、一般の方々の参加も募っている。

→ 集客する方法としては、例えば、飯能市に強い人物等、キーになる方をこの人と決めて連絡した方が、集客につながると思われる。

・随時、色々な企画をして、学生が「介護の原体験」を増やしていけるような学科運営をしていきたい。

以上が、新たに検討していることである。

9 次回開催予定 令和2年3月2日(月) 13時30分 2階会議室

令和2年3月30日

記録：関根 浩

令和元年度 第2回 教育課程編成委員会 議事録

※ 新型コロナウイルスの感染の状況を鑑み、多数の方が、校舎内において長時間に渡り同じ場所に集まる状況は、現況では避けなくてはならないことから、「教育課程編成委員会」を中止とした。なお、当日、使用する資料を全出席予定者に送付し、その資料に対する意見等を回答いただく方法とした。

- 1 予定日時 令和2年3月2日（月）13時30分
- 2 予定場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
- 3 出席予定者 小林健一（つつじの園施設長）
森保博子（飯能市基幹型包括支援センター管理者）
平澤淳校長 岡村忠彦教務部長 星野成美介護福祉学科長
高松浩之介護福祉学科教務主任 関根浩学務部長
- 4 予定議題
 - ① 校長挨拶
 - ② 教育課程編成に係る現状と課題等
 - ③ 就職状況・学生アンケート結果等
 - ④ 質疑応答等
 - ⑤ 事務連絡他
 - ⑥ その他
- 5 意見書
 - ・いつもお世話になっております。資料を拝見させて頂きました。今年度は、多くの留学生を受け入れ、ご指導されている先生方のご苦勞を感じました。
 - ・様々な楽しそうな授業を企画されている様です。
 - ・アンケート調査では、先生方に対する感謝の気持ちが伺え、それぞれ充実した学校生活を送れたことと思います。
 - ・地域貢献については、先日、精明地区で3回目の「認知症やさしい声かけ訓練」を行いました。昨年度に大川学園の生徒が来てくれて色々アドバイスをしてくれたことが地域の方には印象的だったようで、何度となく、そのような話を聞くことが出来ました。お忙しいカリキュラムではあると思いますが、ぜひ、地域の活動への参加等も参加していただけることを期待します。
- 6 次回開催予定 令和2年5月19日（火）13時30分 2階会議室